

平成 29 年度学位記授与式 学長式辞（平成 30 年 3 月 18 日）

今年の冬は大雪に見舞われたり、何度も寒の戻りがあったりと、厳しい気候が続きました。それにもかかわらず、いつもより早く桜の便りが届くなど、いよいよ春本番の季節になりました。今年もこうして卒業生の皆さんが巣立っていかれる日を迎えました。

本日、駿河台大学第 28 回学位記授与式に当たり、学士課程 5 学部、修士課程 2 研究科の皆さんに対しまして、大学役員、教職員一同、心よりご卒業のお祝いを申し上げます。ご父母の皆様におかれましては、ご子息、ご令嬢のご卒業を心よりお慶び申し上げます。皆様におかれましては、お子様のご卒業を迎えられ、安堵感とともに、一人前の社会人として羽ばたいていかれる姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと拝察申し上げます。また本日は、ご多忙の中、数多くのご来賓のご臨席を賜り、篤く御礼申し上げます。皆様におかれましては、日頃より、本学の教育・研究・地域活動に深いご理解と多大なご支援をいただき、ありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて本日は、皆さんのご卒業に当たり、ひとこと、はなむけの言葉を贈りたいと思います。現在のわが国は、少子高齢化の一層の進行に伴う生産労働人口の減少、経済的格差の拡大、グローバル化の進展など、数多くの課題にさらされています。IT や人工知能の大いなる普及、ロボット技術の進歩は、私たちの生活にとどまらず、産業構造にも大きな影響を与えています。国際的には、ポピュリズムの台頭に見られるように、自国優先の内向きの政治動向も見逃せません。

こうした変化のなかで、就労状況も大きく変わろうとしています。コンビニエンスストアの無人レジのニュースが流れてきていますし、自動車の自動運転の実用化も視野に入ってきました。大手銀行のリストラも大きく報道されています。現在ある職業のうち、どれだけのものが 10 年先、20 年先に残っているのでしょうか。多くの仕事がロボットや人工知能に取って代わられることでしょうか。反対にこれらの業務を運用するための新しい事業が生まれ、これまでにない職業も登場してくるはずで、す。今後は、機械を使いこなす知識や技能とともに、人間でなければできない仕事、人間相互のコミュニケーションに支えられた職業が、これまで以上に重要になってきます。

これからの社会を支える人に求められるのは、大きく変化する社会の課題を的確に捉え、自分自身の頭で考え、新しい方策を見出し、これを実現していく力です。そのためには、つねに新しい知識や情報を主体的に学び、自分の能力を高めようとする意欲、困難な事態に積極的に立ち向かおうとする力強さ、円滑なコミュニケーションのもとに他の人と協働して

仕事を進めていく力などが求められます。また、外国の方を含め、多様な人と交わり、それぞれの考え方、価値観を理解し、対応することができる力も重要です。これらの力は、社会がどのように変わっても、自分の仕事に変化しても、生きていく上で常に必要とされる力です。

本学は「愛情教育」の理念にもとづき、これらの力を「駿大社会人基礎力」として、その修得を目標に教育を行っております。この教育を通じて、卒業生の皆さんは、専門分野の基礎的知識や技能とともに、考える力、行動に移す力、協働する力など、社会のどの分野で働いても必要とされる力と高い倫理観を備えておられるはずです。

卒業生の皆さんは、本学で身に付けたこれらの「駿大社会人基礎力」をもとに、常に新しい知識を吸収し、先端的技能を身に付けるなどの自己研鑽を重ね、信頼される社会人として成長し続けてください。皆さんの学びは、大学卒業をもって終わりというわけではありません。「人の一生は、学びの一生」です。これからも主体的に学び続け、世の中の時流に安易に左右されることなく、社会で中核的な役割を果たしてください。

最後になりましたが、卒業生の皆さんが、豊かな心を持ち、本学で培ったさまざまな力を最大限に発揮されることで、実り多い人生を過ごされることをお祈りして、ご卒業のお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

平成 30 年 3 月 18 日
駿河台大学 学長 吉田 恒雄